

令和元年度 1 学期教育アンケートの結果

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/fujinomori-s/>

7月に実施した「教育アンケート」についての結果がまとまりました。その結果の概要と本校の子どもたちの状況をお伝えします。

— 学校教育目標 —

自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持ち、

心身共にたくましく生きる藤ノ森の子

【令和元年度教育アンケート（地域版）】

	実現度				
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
子どもが、進んで挨拶すること	26.3%	50.9%	10.5%	5.3%	7.0%
本校教職員が、教育に対して熱意と誠意を持つこと	36.9%	63.1%	0.0%	0.0%	0.0%
学校が、子どもの安全確保に気をつけること	48.3%	51.7%	0.0%	0.0%	0.0%
学校が、学校の取組や様子について学校だよりやホームページ等で情報発信していること	69.8%	30.2%	0.0%	0.0%	0.0%
学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること	33.9%	53.6%	3.6%	0.0%	8.9%
学校が、施設の整備など、充実した教育環境づくりに努めていること	32.7%	63.3%	0.0%	0.0%	4.1%
学校が、家庭や地域との連携を大切にしていること	63.5%	36.5%	0.0%	0.0%	0.0%

【地域の方々のおもい・願い】

日頃より本校の教育活動全般について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。特に近年では、登下校の見守り活動をはじめ、様々な場面で子ども達と接し、子ども達の健全な「育ち」の一翼を担っていただいています。結果からも概ね学校の取組に理解をいただくとともに、評価もしていただいていることが分かります。ありがとうございます。

一方で、特に「子どもが、進んで挨拶すること」については「あまり出来ていない」と感じておられることが分かります。普段の登校中も自ら挨拶をすることが少なかったり、大人が挨拶をしても挨拶を返すことができなかったりする様子が見受けられます。挨拶は魔法の言葉。ぜひ自分から挨拶をして、より良い人間関係を築く子どもに育ててほしいと願います。今年度は委員会活動で挨拶運動を行い、子どもたちから「自分から挨拶をしよう」と呼びかけをしています。コミュニケーションの第一歩として、地域をはじめとする自分たちの生活の中でしっかり挨拶できる姿を目指したいと考えます。

また、学校の取組を「タイムリー」に情報発信することにも努めていくことで、学校で「いつ」「何を（に）」しているのか、取り組んでいるのかを目にさせていただくことが、「開かれた学校」への第一歩と考えます。より一層情報発信に取り組んでまいりたいと考えます。

【令和元年度 第1回教育アンケート（教職員版）】

	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
児童が楽しく学校に通うことができるような学級・学校づくりに取り組んでいる。	15.0%	74.0%	11.0%	0.0%
授業の流れを明確にし、学習課題とまとめ、振り返りを行っている。	12.0%	80.0%	8.0%	0.0%
児童がルールを守ることができるように見守り、支援している。	29.0%	64.0%	7.0%	0.0%
児童が進んで学習に取り組むことができよう働きかけている。	21.0%	72.0%	7.0%	0.0%
児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くよう働きかけている。	22.0%	78.0%	0.0%	0.0%
誰とでも協力して学習することができるよう働きかけている。	26.0%	67.0%	7.0%	0.0%
児童に宿題や家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている。	8.0%	74.0%	15.0%	3.0%
教職員自らがていねいな言葉づかいを心掛けている。	22.0%	68.0%	10.0%	0.0%
教職員自ら進んで挨拶をしている。	43.0%	57.0%	0.0%	0.0%
児童が人や物を大切にできるよう指導している。	33.0%	64.0%	3.0%	0.0%
児童が掃除や整理整頓の習慣がつくように働きかけている。	21.0%	61.0%	18.0%	0.0%
児童が進んで体を動かすことができるようにすすめている。	17.0%	57.0%	26.0%	0.0%
児童の読書習慣が定着するよう働きかけている。	18.0%	68.0%	9.0%	5.0%
児童の良さを積極的に見つけ、認め、褒めるようにしている。	29.0%	68.0%	3.0%	0.0%
各おたよりやHPで学級や児童の様子を伝えている。	12.0%	36.0%	48.0%	4.0%

【教職員の結果から】

学校での教育活動の基本は「授業」にあります。授業を構築する上で様々な準備をしています。子どもたちにもどのような力を付けたいのか。そのために何をどのように考えさせるのか。子ども達がめあてを立て、振り返りを行うのと同じように、教員もめあてを持ち、「今日の授業はどうだったのか？」を日々振り返り、より良い授業を目指しています。本年度は若手教員が増え、アンケートを行った時期には手探りの部分もあったかと思われれます。子どもたちがより一層「知る楽しさ」、「分かる喜び」を感じ、意欲的に学習に向かうことができるように教職員も研修を重ね、努力して参りたいと考えます。

「宿題・家庭学習」、「読書」については、家庭との連携が必要不可欠です。学校でどのように働きかけているのか、家庭でどのように働きかけていただきたいのかを明確にし、子ども達が自ら「学ぶ」姿が定着するように取り組んでまいりたいと考えます。また、おたよりはもとより、ホームページを通して学校での子ども達の様子をお伝えできるように情報発信してまいります。

また、教育活動における最大の教育環境は「人」です。相手の事を考えて「話す・聞く」態度の育成は、人権教育の第一歩です。教職員自身が言葉を大切にする姿勢を持ち、言葉を通してより良い教育環境を創り上げていきたいと考えます。

すべては藤、森の
子どものために